

# 2009 年度高麗美術館

## 事業報告

### 1 高麗美術館展覧会

#### ○春季企画展

きらめく朝鮮の技—螺鈿漆器と象嵌青磁

(2009年4月3日～6月28日 75日間 来場者:2101名 平均28名)担当:松浦萌子

#### ○夏季コレクション展

蓮の清香—君子の花 浄土の花

(7月3日～9月27日 76日間 来場者:2577名 平均34名)担当:片山真理子

#### ○秋季企画展

朝鮮の住まいと調度—木工家具にみる美意識

(10月3日～12月23日 70日間 来場者:2511名 平均35.8名)担当:岩城嘉奈子

#### ○新春特別展

朝鮮 虎展

(2010年1月9日～2月14日 32日間 来場者:3837名 平均120名)担当:片山真理子

#### ○冬季コレクション展

朝鮮の壺

(2月20日～4月4日 38日間 来場者:1213名 平均32名)担当:李須恵

<報告資料①のとおり>

### 2 主な刊行物

○「高麗美術館」館報 82.83.84.85号、各2,000部

○新春特別展「朝鮮 虎展」記念図録、1500部

○企画展のチラシ、各40,000部

○新春特別展のチラシ60,000部、ポスター800部

○2010年度展覧会スケジュールのチラシ、60,000部

<報告資料②のとおり>

### 3 佛教大学四条センター提携講座

「朝鮮の仏教文化—人と思想と建築と」

- 古代朝鮮三国と日本の仏教(京都府立大学名誉教授・坂元 義種先生)2009年7月4日 89名
- 考古学からみた朝鮮古代の仏教 (佛教大学教授・門田 誠一先生)8月22日 87名
- 高麗時代の仏教建築と日本 (京都大学大学院教授・西垣 安比古先生)11月28日 75名
- 法隆寺再建時の仏教工芸品にみる百済・新羅の余影  
(奈良国立博物館名誉館員・河田貞先生)2010年2月27日 74名  
<報告資料③のとおり>

### 4 収蔵資料の修復

- 絵画の修復  
渡水羅漢図の修復 1件 表阿弥にて(金沢、馬場秀雄氏)

### 5 他美術館等との連携

〈収蔵作品の出品等〉

- 三井記念美術館、大阪市立美術館、長崎歴史博物館  
【巡回展】「道教の美術」  
「熾盛光如来降臨図」1件
- 茶道資料館「文房具—書院を飾る」  
「冊架図」、「白磁瓜形硯」、「青花金剛山形水滴」、「竹製輪花形長生文筆筒」、  
「辰砂透彫連環文筆筒」、「朱漆塗螺鈿鳳凰文硯床」6件
- 高月町立観音の里歴史民俗資料館「特別展 雨森芳洲と朝鮮通信使」  
「馬上才図」1件
- 北九州市立松本清張記念館「松本清張 最後の小説 神々の乱心」  
雑誌『日本のなかの朝鮮文化』8号、17号 2件、多鈕雷光文鏡\*写真パネルにて

〈展覧作品の借入等〉

- 新春特別展 「朝鮮 虎展」への出品のため借用  
正伝寺より「虎図」伝李公麟画、鹿苑寺より「竹虎図」伊藤若冲画、報恩寺より「鳴虎之図」陶侂画、妙心寺より「子連虎図」、両足院より「嗥虎図」李義養画、石川県立美術館より「乳虎之図」岸駒画、大阪歴史博物館より「松下虎図」卞璞画、京都国立博物館より「竹虎図」尾形光琳画、「探幽縮図」狩野探幽など29件

## 6 美術品の受贈

### ○寄贈報告

株式会社東洋紡カンキョーテクノ（宮城守雄社長、大阪市）  
4～6世紀伽倻土器 21基

## 7 その他

### ○館内イベント

〈ワークショップ〉高麗美術館研究所にて

- ① 「貝でブローチを作ろう！」2009年4月18日  
講 師：柴田道雄先生（漆芸家）参加者：34名
- ② 「拓本体験」7月18日、19日  
講 師：高正龍先生（立命館大学教授、朝鮮古瓦研究者）参加者：30名
- ③ 「やきもの絵付け体験」9月5日、6日  
講 師：村田森先生（陶芸家）参加者：44名
- ④ 「チマチョゴリ試着」10月9日、10日、30日、31日、11月13日、14日  
協 力：夢市場（衣装レンタル会社）参加者：59名
- ⑤ 「韓紙で四角いトレイを作ろう」2010年3月6日  
講 師：申英姫先生（韓紙工芸家）参加者：25名

〈ミニ講座〉高麗美術館2階にて

- ① 「高麗・朝鮮の螺鈿漆芸—その美と民族性」2009年4月25日  
講 師：河田貞先生（当館評議員）参加者：30名
- ② 「虎の絵本読書会」2010年1月16日  
講 師：キムファン先生（動物児童文学作家）参加者：55名

〈朝鮮茶道実演会〉

○韓国茶道協会京都支部尹道心代表一門による茶礼鑑賞 2009年12月6日  
参加者：60名

〈音楽会〉

○ソヘグムと歌のミニコンサート 2010年3月13日  
奏 者：河明樹さん、ルンヒャンさん 参加者：60名